

春 告 草

第 15 号 令和 2 年 10 月 26 日 進路指導部発行

大学入試分析 2020 年度一般入試の合格状況総ざらいと展望 (第 2 回)

私立大：志願者 2 % 減、合格者 9 % 増 それでも「安全校なき入試」 旺文社教育情報センター発表より

『螢雪時代』の私立大一般入試結果調査（534 大学集計：志願者 372.9 万人）によると、前年に比べ「志願者 2% 減、合格者 9% 増」で、倍率は全体で 19 年 4.2 倍→20 年 3.8 倍とダウンした。

入試方式別では、各大学の独自入試は「志願者 1% 増、合格者 13% 増」で倍率は 4.7 倍→4.2 倍にダウン。また、センター試験利用入試（独自入試との併用を含む）は「志願者 10% 減、合格者 1% 増」で、倍率は 3.6 倍→3.2 倍とダウンした。センター試験の数学・英語の難化も、事後出願（センター試験本試験日の後まで出願可）の大学や方式への出願に影響したようだ。

私立大一般入試の志願者は 14 年ぶりに減少したが、合格者は大幅増と対照的。また、難関～中堅上位校の志願者が減る一方、中堅校、特に低倍率校の志願者が増えた。

2019 年入試では、難関校の合格者絞り込みによる難化が、志望変更や併願増によって中堅上位校に波及した。その再現を恐れ、さらに低倍率の中堅校への併願を増やしたり、志望変更したりする傾向が強まった。また、指定校推薦や AO 入試への出願が増加し、公募推薦は合格者大幅増で易化したため、一般入試志望者自体が減少したものと見られる。

一方、難関～準難関校は、敬遠されて志願者減。しかも、定員超過率の制限が固定されたため、合格者を減らさず、たとえ正規合格者は絞っても、追加合格や補欠合格を多めに出したこともあり、「志願者減・合格者増」で倍率ダウンする大学が続出、意外な穴場となった。

志願者数の上位 10 大学（表 2）の入試結果を見ても、4 大学が志願者減の一方で合格者を増やすなど、全体に合格者を絞り込まず、法政大・明治大・早稲田大・近畿大など 10 大学中 8 大学で実質倍率（受験者÷合格者。東洋大は志願者÷合格者）がダウンした。

また全国の私立大を大学単位の競争率（実質倍率）グループ別に分類すると、5 倍台以上と 1 倍台の大学が減る一方で、2～3 倍台の大学が増えている。従来の高倍率校が志願者減と合格者増で倍率ダウンする一方、従来の低倍率校が志願者急増で倍率アップした結果、双方向から 2～3 倍台に集約されたことを示している。“超絶安全志向”が裏目に出て、前年に続き「安全校なき入試」につながったことがわかる。

学部系統別にみると、文系学部は経済・経営・商をはじめ、全面的に「志願者減・合格者増」で倍率ダウン、易化したといえる。一方、理系学部では志願者増の理、工、農・獣医畜産・水産も、志願者減の医療系も、倍率ダウンは比較的小幅に留まっている。特に医は合格者を絞り込んだため、倍率は前年並みを保った。倍率面では志願状況以上に「文低理高」になったといえる。

表 2 私立大 志願者数 TOP10 の入試結果

	大学名	2020 年 志願者数	2020 年 合格者数	志願 指数	合格 指数	実質倍率 20 年(19 年)
1	近畿大	145,350	34,045	94	122	3.9(5.2)
2	日本大	113,902	34,060	113	119	3.1(3.3)
3	早稲田大	104,576	14,513	94	100	6.6(7.0)
4	立命館大	103,669	30,962	110	113	3.3(3.3)
5	法政大	103,628	18,591	90	104	5.3(6.2)
6	千葉工業大	103,269	18,228	114	108	5.5(5.2)
7	明治大	103,035	22,304	92	101	4.3(4.8)
8	東洋大	101,776	27,048	83	113	3.8(5.1)*
9	関西大	87,643	16,189	94	98	5.3(5.5)
10	中央大	86,476	17,026	93	100	4.8(5.1)

(注)志願者指数、合格者指数とも、2019 年を 100 とした指数。

* = 志願者÷合格者

2021 年入試は、新入試の実施とともに、コロナ禍への不安から、学校推薦型選抜（特に指定校推薦）や総合型選抜入試への志願がさらに増加するとみられる。一方、独自入試の中止リスクを考え、多くの受験生が共通テストを受験する状況もあるが、全体的には、基礎数字としての受験生数の減少に加え、推薦系入試へのシフトなど、一般入試志願者の減少は続くものと思われる。

2021 年度 首都圏 主要大学入試情報 ①

国公立大学

(お茶の水ゼミナール発表より)

筑波大学 (人文文化・社会国際・人間・生命環境・理工・情報・医・体育・芸術)

総合選抜を新規実施

表中の記号は○：全学科での実施 △：一部学科での実施 ×：未実施

試験の種類	人文	社会	人間	生命	理工	情報	医	体育	芸術
総合選抜 (一般前期)	○	○	○	○	○	○	○	×	○
学類・専門学群選抜 (一般前期)	△	○	○	○	○	△	○	○	○
一般選抜 (後期)	△	×	○	○	△	△	×	×	○
推薦入試	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A C 入試	○	×	×	△	×	○	×	○	×
研究型人材入試	×	×	×	×	×	×	△	×	×
国際科学オリンピック特別入試	×	×	×	△	△	△	×	×	×
海外教育プログラム特別入試	×	×	×	×	×	×	△	×	×
帰国生徒特別入試	×	×	×	△	×	×	×	○	○

※**一般選抜 (前期)**…総合選抜と学類・専門学群選抜の2方式。総合選抜は、文系・理系Ⅰ・理系Ⅱ・理系Ⅲの4区分で選考。学類・専門学群選抜は、学類・学群ごとに実施。共通テストと個別学力検査等を課す。医学群では個別学力検査に加え、医学類で適性検査を、看護学類と医療科学類で面接を実施。体育専門学群では実技検査・論述試験を、芸術専門学群では実技検査を課す。学群・学類により志願者数が募集人員に対し一定の倍率を超えた場合、調査書の内容と共通テストの成績で第1段階選抜を行う。

※**一般選抜 (後期)**…共通テストと面接・小論文等を課す。人文・文化学群では人文学類、理工学群では数学類以外の全学類、情報学群は知識情報・図書館学類で実施。学群・学類により志願者数が募集人員に対し一定の倍率を超えた場合、調査書の内容と共通テストの成績で第1段階選抜を行う。

※**推薦入試**…推薦要件は学群・学類により異なる。個別学力検査と共通テスト(人間学群心理学類除く)は免除、小論文(芸術専門学群を除く)と面接(医学群医学類では適性試験)で選抜。体育専門学群と芸術専門学群は書類審査に加えて実技検査も実施。なお、1つの高校から推薦し得る人数は学群・学類により異なる。

※**A C (アドミッションセンター) 入試**…生命環境学群では生物学類で実施。第1次選考は書類選考(自己推薦書・志望理由書等)、第2次選考は個別面接・口述試験(約30分)で判定。大学HPに入学者のレポート集(自己推薦内容の概要)の掲載あり。

※**研究型人材入試**…医学群医学類で実施。各種学術大会で所定の成績を収めた者や優れた理系研究を行った者が対象。出願要件に外部英語検定試験の受験がある。書類審査、適性試験、面接・口述試験(プレゼンテーションを含む)で合否判定。

※**国際科学オリンピック特別入試**…生命環境学群生物学類、理工学群物理学類・化学類、情報学群情報科学類・情報メディア創成学類で実施。国際科学オリンピック日本代表として選抜された者や国内代表者選考等での専門分野において一定の成績を収めた者を対象とする。

※**海外教育プログラム特別入試**…医学群医学類のみで実施。海外の高校に2年以上在学していた者が対象。書類選考・面接・口述試験で合否判定。

※**帰国生徒特別入試**…体育専門学群・芸術専門学群は4月入学、生命環境学群生物学類は10月入学の試験。専願制で、書類審査・小論文・実技検査・面接等で選抜。

変更点

全学群 (体育専門除く)

◎一般選抜前期日程で総合選抜を導入。「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」で募集。

人文・文化学群

◎日本語・日本文化学類一般選抜前期日程で学類・専門学群選抜を廃止、総合選抜のみ実施。

◎比較文化学類で一般選抜後期日程を廃止。

社会・国際学群

◎社会学類一般選抜前期日程個別学力検査の外国語・数学・地歴の指定科目を変更。外国語はドイツ語・フランス語・中国語の選択が不可に。地歴は地理の選択が可となる。

◎国際総合学類一般選抜前期日程個別学力検査の数学は数学ⅠⅡABもしくは数学ⅠⅡⅢABから選択となる。

基本的に情報は概要であり、今後変更される場合があります。必ず大学の募集要項を確認してください。